

No.17 教員対象アンケート例（竹原高等学校）

【質問 1】

失業率や自発的離職者数は年々増加傾向にあります。これらの問題についてどのように考えていますか。

- ア 非常に重要な問題である
- イ どちらかといえば重要な問題である
- ウ どちらともいえない
- エ それほど重要な問題ではない
- オ 重要な問題ではない
- カ 特に考えたことはない

【質問 2】

キャリア教育の実施は必要であると考えていますか。

- ア 絶対に必要である
- イ どちらかといえば必要である
- ウ どちらともいえない
- エ それほど必要ではない
- オ 全く必要ではない

【質問 3】

質問2でア・イと答えた方、キャリア教育はどの段階から実施すべきだと考えていますか。

- ア 小学校から
- イ 中学校から
- ウ 高等学校から
- エ 大学から

【質問 4】

質問2でウ、エ、オと答えた方、その理由として近いものは次のうちどれですか。

- ア 今言われているキャリア教育そのものに意味がない
- イ キャリア教育よりも先にやることがある

ウ キャリア教育という教科のくくりはなく、全教科を通じて児童生徒が学びとるものである

エ 学校現場で行うものではなく、家庭で行うものである

オ その他

【質問 5】

キャリア教育を行う場合、どの教科・活動での実施が適切と思いますか。

ア 総合的な学習の時間

イ 社会科系教科

ウ 課外学習

エ 社会科系以外の教科

オ その他

【質問 6】

キャリア教育を実施するに当たって、課題であると想定されることを以下から選択してください（複数回答）

ア 想定の内時間内への組み込みが困難

イ 企業等への交渉などプログラム開発のための時間確保が困難

ウ 実施予算の確保が困難

エ 企業連携に当たり、いかに企業PRとならず教育効果を確保できるか不安

オ キャリア教育プログラムの量的不足

カ キャリア教育プログラムの多様性不足

キ キャリア教育プログラム情報の不足

ク キャリア教育を実施する教員不足

ケ 企業と学校との間に入り、キャリア教育を実施する専門機関の不足

コ その他